

2022年度 和光大学・町田市生涯学習センター共催講座

今、文化遺産が新しい

－ 変わりゆく人・モノ・時間の関係性 －

参加無料

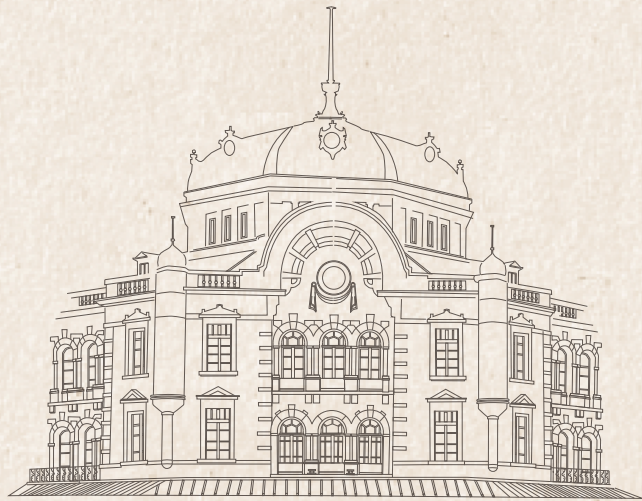
かつて文化財といえば、手を触れることなく凍結保存するように大切に守る、というイメージがありました。

ところが最近では活用がさかんに叫ばれ、文化財として登録された古い建物を使った文化施設や飲食店などをよく見かけるようになりました。

世界遺産登録はしばしば観光振興とセットで語られます。

また、日本遺産、ユネスコ無形文化遺産、オリンピックの遺産「レガシー」など、新たな言葉を耳にするようになりました。

この講座では近年の文化遺産をめぐる制度や考え方の変化を理解し、具体的な事例にふれながら、人・モノ（非モノ）・時間の関係性を考えていきます。



講師：長尾 洋子氏

(和光大学 表現学部総合文化学科教授)

第1回 6月10日 [金] 18-20時 文化遺産をめぐる制度的な枠組み
～身近な話題や報道から～

第2回 6月17日 [金] 18-20時 活用の効用
～何のために、誰のために～

第3回 6月24日 [金] 18-20時 文化遺産を生きる



会場へのアクセス



会場：町田市生涯学習センター 6階 学習室 1、2
町田市原町田 6-8-1 町田センタービル

定員：25人※申込み順

申込：5月16日 [月] 午前9時～電話にて受付
生涯学習センター

☎ 042(728)0071